くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会

編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2-19-3
（３７５２）４２７１

知らせてね、わたしにできる手助けを。
国際障害者年10年記念 優秀作品(平成２年)
水田　麻里子(当時久原小五年)

久が原地区管内	人口	男	12,093人
		女	12,157人
		計	24,250人
	世帯		10,268世帯

平成７年９月１日現在

東京都青少年洋上セミナー

四百名の仲間と共に十六日間の研修を終えて

（中華人民共和国派遣）

七月二十一日から八月五日までの十六日間、私は、第十六回東京都青少年洋上セミナーに参加し、中国の北京・上海・天津を訪問しました。

参加した団員は、東京都に住む高校生四百名で、「友情と希望の灯を高く―ともに語ろう未来の夢を―」というテーマを掲げ晴海埠頭を出航しました。四泊五日の船上研修を経て、天津新港に上陸。雨の中、少年宮の子供たちが演奏や踊りで迎えてくれました。

最初に古文化街に行き、買い物をしました。昔のままの変わった建物がたくさん並んだこの通りは、雨の日でも人通りが多く、活気があふれていました。私たちは、辞書を片手に、合っているかわからない不思議な発音の中国語で、苦戦しながら買い物をしました。また、「夜は絶対に各部屋から出ないこと」と説明され、日本の治安の良さを改めて感じさせられ、「早く日本に帰りたい！」などと思ってしまいました。

翌日、北京市に移動し、同年令位の学生の案内で、有名な天安門、故宮等を案内してもらいました。そして彼らの学校と家庭を訪問しました。私は他の二人の団員と一緒に、栖嫩と対靖の家に行きました。お互い英語で話したのですが、二人は私たちより英語が上手で、会話がはずみ、日本に帰ったら必ず手紙を下さいと約束しました。

その後、上海へ移動し、浦東開発区を見学。産業開発のため世界各国の多くの会社が進出していました。

東京都少年団体リーダー研修

大きな北海道の自然の中で交流・交歓・自然学習を終える

この夏、貴重な体験が出来たことをうれしく思います。

まず、北海道の地に一歩踏みこんだ瞬間、自然の雄大さに驚きを覚えました。

研修の目的だというファームステイでは、不安と期待で胸がいっぱいでした。ですが、私がお世話になった菊池さんのお宅では私を優しく迎えてくれました。キャベツ・じゃがいも等の収穫の手伝いでは少し戸惑いましたが、農作業の大変さを体験でき、良かったと思います。また、乗馬やバーベキューなどをさせていただき、本当に感謝しています。

そして帯広市の小・中学生との交流では、たくさん友達をつくることが出来ました。北海道研修最後の夜のキャンプファイアは、帯広市の友達、東京の仲間と燃え上がる炎を囲みながら、研修の思い出を語り合い、さらに友情を深めた、涙のキャンプファイアとなりました。

短い間でしたが、この研修に参加できたことをうれしく思います。良い仲間に出会い、一緒に過ごして、学んだことがたくさんあります。このことを自分のため、地域のために役立てるように活動していきたいです。

この研修で私を支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

（大森第十中学校　三年　高橋美雪）

普通では見られないような、京劇・雑技など、中国の文化や歴史にふれ、そして人々との交流で生活や考えを知ることができました。すばらしい研修の旅でした。

（品川女子学院高等部　二年　坂　紀代子）

今、私達に求められている「子供の人権」

東京都青少年健全育成パネルディスカッションに参加して

いじめの問題に触れる事の多さを感じる昨今、先日「いじめと子供の人権」について、青少年健全育成パネルディスカッションが、東京都生活文化局女性青少年部青少年課主催で行われました。コーディネーター、パネリストと五人のそれぞれ経験豊かな先生方より、現状に基づいたお話をお聞きし、私の記憶に残っている部分を少し書かせていただきます。ポイントは次の通りです。

○どうして子供たちに善悪の判断ができないのか
（善悪のけじめがない）
○いじめの救済
（いじめの被害者の救済）
○加害者の見方
（犯罪者的な扱い、見方をするのは良くない）
○いじめはいつも許されないことだ
○子供たちの、その時その時のサインを受け止める事
○子供の人格形成をする等、いろいろ意義深い、我々大人が考えさせられるお話でした。

私は、子供のしつけは就学前に各家庭で行うべきだと思いますが、現実には厳しい状況です。不足の所は、学校の諸先生方、地域の皆様方、そしてもちろん家庭も一丸となって、子供たちの為に今一番何をすればよいのかを考えていきたいと思います。いつも、一人ひとりの子供の立場に立つことが重要だと思います。

（青少対委員　野口勝子）

久が原会館利用方法及び利用料金のお知らせ

☆催し物などにご利用ください。

すでにお知らせしましたとおり、七月一日から久が原会館がご利用されています。

どなたでも、月曜日の休日を除いて、申込みにより自由に使用できます。カラオケ、マイク、ビデオデッキ等も備え付けてあります。

また、茶器や什器もそろっておりますので、ご自由にご使用いただけます。

利用いただける部屋は、一階に和室及び集会室、二階は大ホールとなっております。催しに応じ、手ごろの部屋をお選びのうえ、ご利用ください。

使用料及び各部屋の定員は右の表のとおりです。なお、休日の使用料については受付までお問合わせください。

また、カラオケやマイク、アンプ等をご利用なさる際は、受付へお申し出いただき、別途使用料が必要となります。

オープンしてからまだ日も浅く、皆様のご要望により、更に充実をはかって参りたいと思います。多くの皆様のご利用をお待ちしております。

【問い合わせ先】
久が原会館２―７―17
電話　三七五二―九五〇〇

	和　室 15名位	集会室 35名位	大ホール 120名位
A	1,000円	1,300円	3,500円
B	1,500円	3,000円	7,000円
C	2,500円	4,000円	10,000円
D	4,500円	6,000円	18,000円

A…午前　B…午後　C…夜間　D…終日

受賞おめでとうございます

敬称略

▽平成六年度清掃功労者
清掃事務所長表彰
醍醐　康之(道々橋自治会)

▽平成六年度清掃功労者
清掃事務所長感謝状
青山トモ子（東自治会）

にぎやかな盆踊り大会
東久が原商栄会と久が原銀座商店街で

地域内での夏の恒例行事となった盆踊り大会が、今年も盛大に開かれました。

○東久が原商栄会の「納涼盆踊り大会」は七月十八、十九日、久が原二丁目ダイシン百貨店屋上駐車場で開かれ、やぐら太鼓を中心に、浴衣姿の女性の踊り手の輪が広がり、華やいだ雰囲気を盛り上げました。会場には、夜店も出て、親子連れの人たちが夏の夜のひとときを楽しみました。

○久が原銀座商店街の盆踊りは、七月二十九、三十日にライラック通り中央部駐車場で開かれ、「95ライラックサマーフェスタ盆踊り」と名付け、地域の人々に参加を呼びかけ、にぎやかに行われました。踊りのほかビンゴ大会、富くじ大会などもあり、大勢の人たちが楽しみました。

（天野重夫）

▲東久が原商栄会

▲久が原銀座商店街

思い出の記
改装成った久が原出世観音堂

その昔、江戸郊外の豊かな農村地帯で、西に富士を遠望する風光明媚な保養地でもあった久が原には、当時、築地料亭「喜楽」の別荘（寮）が在り、明治初年には、中央の高官や著名人が保養に来遊していたといわれます。

時の元勲、伊藤博文公もこの地を好み、しばしば来遊され、「喜楽」の女将、伊藤きんさんの手厚いもてなしを受けたと伝えられております。

その後、伊藤博文公は、朝鮮総監となり、その赴任中にハルピン駅頭で暗殺されてしまいました。

女将は、その死を大変悲しまれ、生前の恩顧に応え、その冥福を祈るため、自らがかねてより信仰していた如意輪観世音を吉野の本山から勧進して、屋敷内に祭り、厚く信仰の功徳を広めることとしました。そのために近隣有志で奉賛するところとなり、店も繁盛したといわれます。

その後「喜楽」は代替りし、「新喜楽」と改称し女将も木村さくさんが引き継ぐところとなり、観世音の信仰も盛んであったと伝えられております。

しかし、料亭は戦災にあい焼失しましたが、観世音は、近隣の村井さんによって守られてきました。

戦後、この地は野村証券㈱の所有するところとなりましたが、会社の理解ある計らいにより、観世音は現在地に祭られました。村井さんが堂守として世話するこの折りを機会に、名称も、先の二人の女将による厚い信仰の徳を称えて「出世観音」と名付けたといわれております。

このたび、野村証券㈱が、従来の建造物の建替えを行うに当り、敷地内の観世音堂も改装のうちに入れ、勧進するところとなり、いっそうの美観を施しました。

このうえは、地域の名所として、さらに「出世観音」の名声の高まることを地域の皆様と共に願うものであります。

（川又　浩）

夏休みの思い出
「夏休み子どもキャンプ」in平和島キャンプ場
―一番心に残ったこと―

☆みんなとカレー作りをしたことです。松六　仲田里美
☆テントで遊んだことが楽しかったです。松六　鈴木まこと
☆夜寝ようとしたら、外がうるさかった。久五　村田早織
☆初めて作ったカレーがおいしくできた。久五　山道有希子
☆いっぱいの友達。テントはりの勉強。松四　美濃香奈子
☆キャンプファイア、プールが最高。松四　山川弥穂
☆初めてカレーを作れてよかった。松四　黒田悟之
☆テントはりとプールに行ったこと。久四　町田二美
☆キャンプファイアが楽しかった。久四　高橋尚男
☆自分で夕食を作ったことが楽しかった。久四　清水茂幸

久が原まつり
9／24久原小学校

久が原まつりは、昨年、一昨年の二回は、地域防災関係行事と同時開催されましたが、今年は単独で開催されました。

地域の交流、親睦を目指して、老若男女全ての人が参加できるプログラムが企画されました。家族総出で参加された方々、子供たちに励まされ、顔をほころばせて乗りに乗った方々など、明るい歓声と、力強い熱気に溢れた、おもしろくて楽しかったまつりの一日でした。

長時間の準備に労力を費やされた実行委員の方々も、盛り上がった会場の雰囲気に報われる思いであったと思います。

また、来年、皆様のご参加をお待ちしております。

（新井信子）

久が原郷愛会（旧郷友会）の慰霊祭

久が原郷愛会として最も大事な行事の慰霊祭を行いました。

慰霊祭は、地域四自治会をはじめ多くの地域団体の協賛により、九月二十三日に本光寺で地域三ヶ寺のご住職より慰霊の読経を頂き、境内に慰霊の塔婆を建てました。

ちなみに久が原郷愛会は、本紙十七号「思い出の記」でお知らせした久が原郷友会が今年の総会決議で変更した会の名称です。

（会長　宮田篤二）

防災講演会を開催

九月三日、久が原会館で、田園調布消防署、伊藤徹隊長による防災講演会が開かれました。

これは「明るい社会づくり運動の会」（山野岩吉委員長）主催によるもので、七十名を超える参加者に、阪神大震災救援活動状況の感銘を与え、防災への共感を得るところとなりました。

（川又　浩）

委員会からのお知らせ
全国地域安全運動実施「安全で安心できる街づくり」

我が国は、世界的にも治安のよい国でしたが、最近、サリン事件、拳銃による発砲事件の増加等にみられるように、地域の安全を脅かす出来事が頻発しています。区民が安全に生活できることは、区民一人ひとりに共通する願いです。地域の安全を実現するためには、警察、行政と地域住民と一体となった運動が大切です。

十月十一日から二十日まで「全国地域安全運動」が実施されます。この運動は、「高齢者社会にむけて安全で安心できる街づくり」を目的としています。

「みんなでつくろう　安心の街　大田区」
「守ろうよ　わたしの好きな町だから」

このようなスローガンを掲げ、運動期間中には、各種事業を予定しています。皆様にも改めて地域の安全についてお考えいただければ幸いです。

☆問い合わせ先
各警察署防犯係　もしくは
大田区地域振興課地域振興係
電話　三七七三―五二〇一

編集後記

○防災や文化の行事が華々しく開かれ、地域は活気に満ちております。
○いっぽう郷愛会（旧郷友会）では、終戦50年に当たり、敬弔の誠を捧げて慰霊祭を挙行し、その冥福を祈りました。
○また、「まつり」や「敬老の集い」など、地域あっての催しが行われています。
○ここに、それぞれのニュースを盛り、情報誌22号をお届けします。さらに皆様のニュースをお待ちしております。

（かわまた）